

令和6年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ [ウインドアンサンブルコース]

到達指標

- [知識・理解] 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
(1) 楽曲の背景や、基礎理論を学ぶことで、聞く人に伝わる演奏ができる。
- [思考・判断・表現] 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。
(1) 聞く人に応じた選曲や、レッスン対象に応じた指導ができる。
- [技能] 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
(1) 演奏者として必要な情報収集能力やコミュニケーション能力を身につけ、円滑な人間関係を築くことができる。
- [関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。
(1) 地域の音楽文化発展に寄与する自覚を持ち、専攻楽器の演奏技術を真摯に錬磨することができる。

1. [知識・理解]

2. [思考・判断・表現]

3. [技能]

4. [関心・意欲・態度]

1年次

2年次

期	科目名	1年次				2年次						
		1.	2.	3.	4.	1.	2.	3.	4.			
前期	専攻楽器Ⅰ	◎	—	—	◎	前期	卒業研究Ⅰ	—	—	◎	◎	
	吹奏楽概論Ⅰ	◎	○	○	△		吹奏楽実践演習Ⅲ	○	◎	◎	△	
	吹奏楽Ⅰ	○	◎	◎	△		アンサンブルⅢ	◎	◎	◎	△	
	アンサンブルⅠ	◎	◎	◎	△		吹奏楽研究Ⅰ	◎	○	◎	△	
	音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○		演奏会研究Ⅲ	◎	◎	○	○	
	鍵盤楽器Ⅰ	○	◎	◎	○		音楽総合特講Ⅲ	◎	◎	○	○	
	ヴォーカルⅠ	○	◎	◎	△		楽器店実習	◎	○	—	◎	
	音楽史Ⅰ	◎	○	○	○		鍵盤楽器Ⅲ	○	◎	◎	○	
	音楽理論Ⅰ	◎	○	○	○		作譜	◎	△	○	○	
	ソルフェージュⅠ	◎	◎	△	△		ソルフェージュⅢ	◎	◎	△	△	
	音楽心理学	◎	○	△	◎		ヴォーカルⅢ	◎	◎	○	○	
	発達心理学	◎	○	△	◎		和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○	
	子どもの保健	◎	○	△	△		リペア入門Ⅰ	◎	◎	△	○	
	教育原理	◎	○	○	△		スポーツクリエイションⅡ	△	○	○	◎	
	音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△		臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△	
	後期	専攻楽器Ⅱ	◎	—	—		◎	音楽療法・臨床	◎	◎	△	△
		吹奏楽概論Ⅱ	◎	△	○		○	公務員・一般職試験対策Ⅱ	◎	○	△	◎
		吹奏楽Ⅱ	○	◎	◎		△	音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎
		アンサンブルⅡ	◎	◎	◎		△	吹奏楽実践演習Ⅳ	○	◎	◎	△
		管楽器・業界研究Ⅰ	◎	○	—		△	アンサンブルⅣ	◎	◎	◎	△
音楽総合特講Ⅱ		◎	○	◎	○	演奏会研究Ⅳ	◎	◎	○	○		
鍵盤楽器Ⅱ		○	◎	◎	○	鍵盤楽器Ⅳ	○	◎	◎	○		
ヴォーカルⅡ		○	◎	◎	△	スコアリーディング	◎	○	○	◎		
音楽史Ⅱ		◎	○	○	○	ソルフェージュⅣ	◎	◎	△	△		
音楽理論Ⅱ		◎	○	○	○	ヴォーカルⅣ	◎	◎	○	○		
ソルフェージュⅡ		◎	◎	△	△	和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○		
スポーツクリエイションⅠ		◎	○	○	◎	ポピュラー音楽史	○	○	○	◎		
音楽療法演習		○	○	◎	◎	リペア入門Ⅱ	◎	◎	△	○		
音楽療法・基礎		◎	◎	△	△	スポーツクリエイションⅢ	○	○	○	◎		
音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎	特別支援教育	◎	○	○	○			
後期	社会福祉	◎	◎	△	○	吹奏楽研究Ⅱ	◎	○	◎	△		
	臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	○	○	音楽療法・技法	◎	◎	△	△		
	音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎	音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎		
	臨床実習	◎	△	△	◎	卒業研究Ⅱ	—	—	◎	◎		